

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	小児に対する手指欠損用筋電・能動義手の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部 診療部長 高木 岳彦

1. SCORE での活動目的

上肢の欠損は形態が多様であるため、既存の機能性義手では対応できない場合が少なくない。小型化した小児用筋電義手や残存関節機能を活用した能動義手など、適応できる義手がなかった欠損に対する義手を開発してきたが、市販に向けたプロトタイプ of 作製とニーズの検証を行う。

2. 総合所見

明確なニーズに基づき患者本人(小児・幼児)・保護者・医師・義肢装具士へのヒアリングと技術検証を着実に推進し、新しい義手システムのビジネスモデルを構築した点を評価する。社会的意義の高い課題に取り組んでおり、事業化を実現することに期待する。

以上